

平成25年度 原町第二小学校図書館支援活動報告



学校図書館支援員 今野敦子

平成25年度 原町第二小学校図書館支援活動報告

在籍児童数 163名（1年15名／2年26名／3年35名／4年23名／5年31名／6年26名）

図書担当教員 今村はるみ

学校図書館支援員 今野敦子

1 活動開始前の学校図書館の様子

（1）第一図書室の状況

～図鑑と絵本を除く0類から9類の本がある図書室～

- ① ガラス窓や黒板などにボランティアさん手作りの春の飾りが貼られており、それらが図書室全体に明るく、かわいらしい印象を与えていた。
- ② 古い本はあるものの、その数は多くない印象を受けた。
- ③ 3年前の干支やお正月飾り、秋の虫やハロウィンの飾りなど、季節の合っていない飾り付けがされたままになっていた。
- ④ 古いカレンダーや色あせたポスターなどが掲示されていた。
- ⑤ 閲覧テーブルの上に、ダンボールに入った状態の寄贈本が置いてあった。
- ⑥ 分類ラベルが貼られていない本が書架に多数混ざっていた。
- ⑦ NDCの書架サインが棚の上に置かれ、文学はジャンルの表示がされているなど、分類表示がされていたが、それらが守られずに戻っている本が多数あった。
- ⑧ 面出しのできる書架があったが使われていない様子だった。
- ⑨ 廊下に面出し専用書架が2つあり、おすすめ本や児童の俳句などが飾られていたが、2～3年前から動かされておらず、日焼けしている状態だった。

（2）第二図書室の状況

～調べ学習の部屋とおはなしの部屋とに分かれた図書室～

- ① ボランティアさんの春の飾りや手の込んだ壁面飾りが貼られていた。
- ② 日本の絵本と外国の絵本が分けられており、色シールで分かり易く表示されていた。
- ③ ゆっくり絵本を選んだり、読み聞かせをしたりできる、畳のスペースがあった。
- ④ 書架や壁に秋の飾りつけ、古いポスターなどが貼られたままになっていた。
- ⑤ 現在は使われていないような古い百科事典や国語辞書などが配架されていた。

（3）学校側の図書活動に対する様子

- ① 先生方
 - ・校長先生が図書館教育の知識と経験が豊富で熱心であり、図書館支援員の存在を児童に早く知ってもらうためにと、朝の全校集会でのあいさつや学校便りへの原稿を依頼された。

- ・ 図書担当の先生は、児童への読書や図書館に関する声かけが素晴らしく、児童との距離もすぐに縮まった。
 - ・ 支援活動としては、装備されていない寄贈図書の受け入れを優先させてほしいとのことだった。
- ② 児童
- ・ 2・3年生の貸し出しが多く、4年生以上の貸し出しが少ない印象を受けた。
 - ・ 数は多くないが、本が好きで図書室に通う高学年の児童がいた。
- ③ 図書委員の児童
- ・ 6年生を中心にして、手際良く図書の貸出・返却をこなしていた。
 - ・ 放送で前回1番貸出の多かった学年を発表し、児童の読書意欲を高める働きかけを行っていた。
- ④ PTAボランティアの協力
- ・ 3年くらい前に、大勢で大規模な除籍作業を行っていた。
 - ・ 現在は2名で、不定期に季節の飾り付けを行っていて、うち1名は、おおむね週1回、学年別の読み聞かせも行っていた。

2 主な活動内容

(1) 書架整理

①第一図書室の改善

- ・ 0類の書架から順に、分類ラベルが貼られていない本を書架から抜き、コンテナに入れていったが、貸出が始まっていたため、人気があるものは、そのまま書架に残し、時間を見て、装備することにした。
- ・ 分類順に書架整理をした。
- ・ 古いポスターや飾りを外した。

②第二図書室の改善

- ・ 絵本の書架から分類ラベルが貼られていない本を抜き、後から装備しやすいように、絵本書架上に分類順に一時配架した。
- ・ 日本の絵本は、絵を描いた人名のアイウエオ順、外国の絵本は、絵本のタイトルのアイウエオ順と表示がされていたため、それに従い、書架整理した。
- ・ 書架上にスペースがあったため、ブックエンドを使い、数冊面出しして配架。
- ・ 古いポスターや飾りを外した。

(2) 別置コーナーの設置

① 「新しい本」コーナー (第一図書室) 5月開始

- ・ 学校教育課から届いた寄贈本を受け入れし、使われていなかった面出し可能な書架に配架した。(5月～6月頃)
- ・ 随時届く 寄贈図書を受け入れし配架した。
- ・ 市費やPTA費での 購入図書を配架した。(2月～3月)
○来館する児童は、まずこの書架を見て、新しい本が入っていないかチェックするようになった。

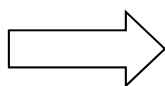
② 「特集」コーナー 6月開始

- ・ カウンター脇の書架に、季節に合わせた特集コーナーを設置した。⇒*1
- ・ 理想教育財団からの寄贈図書を置くため、第一図書室中央にある3類・4類の書架上に移動した。
- ・ 廊下の2つの面出し書架には、学校行事に合わせた特集や児童からリクエストが多かった作家の特集などを企画し展示した。
○折り紙や切り絵を貼った看板や手作りのモビールを飾り、本は表紙を見せるためイーゼルを使うなど、児童が思わず手に取りたくなるような工夫をした。
○絵本だけに限らず、よみものや4類の本など、様々な分野から選んだ。
○特集を新しくしたら、来館した児童に積極的にお知らせし、書架に案内した。
声をかけると、喜んでそこから借りていったので、効果があったようだ。



<改善前>

書架サインと本が一致していない状態



<改善後>

特集コーナー “梅雨”
モビールで雨粒を表現した

* 1 第一図書室特集コーナー

月別	季節の特集
6月	梅雨
6月末～7月上旬	七夕
7月中旬～9月	夏の日
10月	ハロウィン
11月～12月	クリスマス
1月	お正月
2月上旬	節分
2月中旬～下旬	バレンタイン・ロシア
3月上旬	ひなまつり
3月中旬～下旬	春の日



第一図書室廊下書架その1
 <学習発表会を記念して>
 各学年の出し物に関連した本を展示

③ 「教科書に載っている本」コーナー (第一図書室) 8月開始

・教科書に載っている本を第一・第二図書室から集めて、スペースに余裕があった6類の書架を1つ空けて、そこにコーナーを設置した。

○黒板をイメージした看板を作り、教科書をイメージしやすいようにした。

○入口を入ってすぐの場所ということもあり、よく借りられていた。

④ 「市立図書館」の本／コミック本コーナー (第一図書室) 8月開始

・児童からリクエストのあった本やコミック本を中央図書館から借りて設置した。

・コーナーは別々に設置し、コミック本のみ「貸し出し不可で図書館内でのみ閲覧可」とし、それぞれ看板を設置した。

○あまり図書室に来なかった高学年の児童がコミック本を読みに来るようになった。

【課題点】

貸し出し不可のコミック本を間違えて、クラスに持っていく児童がいたため、周知徹底が必要。

⑤ 「杉並文庫」 コーナー (第一図書室) 11月開始

- ・ 杉並区から寄贈の30万円分の図書を選書し、受け入れし、コーナーを設置。
- ・ 2つの書架の左側に杉並区ゆかりの作家の本を、右側にそれ以外の本を配架した。
- ・ 壁…東京都と杉並区の地図と杉並文庫の看板を設置。
- ・ 書架上…杉並区や杉並文庫の説明や杉並区のキャラクターの紹介を設置。
- ・ 入口…「杉並文庫が届きました」のお知らせ看板を設置。

○動物やきのこなどの切り絵を飾り、秋の季節に合った温かいコーナーを目指した。

○書架が2つのため、棚にスペースが生まれ、表紙を見せて配架することができた。

○中央図書館から本に関連したぬいぐるみを借り、本の横に置いて、楽しい雰囲気が出せるように工夫した。



棚左側

<改善前>



棚右側



<改善後>

⑥ 「理想教育財団からの寄贈本」 コーナー (第一図書室) 11月開始

- ・ 選書は学校側が行い、書架は「季節の特集」コーナーを空けて、配架した。
- ・ 書架上に「理想教育財団」からの寄贈本と表示した看板を貼った。

(3) 図書委員会活動

- ① 水曜日と金曜日、昼休みの図書の貸し出しを図書委員と一緒に担当した。
- ② 金曜日の5校時目に実施される委員会活動に参加した。
- ③ 読書週間で行う「読書ビンゴ」の景品のしおりとしおり入れを作った。 10月

- ④ 読書郵便では、郵便ポストを作り、郵便の回収・配達を行った。2月
○100通以上の郵便が届けられ、出した人・もらった人・届けた人、みんながとても楽しそうだった。

(4) 授業で使用する図書の準備、調べ学習の補助

- ・先生から依頼を受け、中央図書館から必要な図書を借り、搬入した。
- ・調べ学習で児童が図書室に来館した際、資料提供したり、一緒に探したりした。

(5) 読み聞かせ会

- ・昼休み、学年ごとに実施した。
- ・他にもクラスから個別に依頼があった。例：2年 昔話の読み聞かせ

(6) 20冊おめでとう賞の集計・賞状準備

- ・2学期中に20冊読んだ児童に賞状を渡した。(40冊で2枚目の賞状というように、20冊刻みで賞状を渡した)

【課題点】

特に低学年の児童は、賞状がもらえてとても喜んでいたが、読むペースが速かったため、味わって読むことの大切さも伝えられるとよかった。

(7) 絵本に関連したくじ引きや占いなどの遊び

～児童が遊びを楽しみながら、絵本の世界に親しむことがねらい～

- ① 絵本「スイミー」より ～スイミーくじ～ 8月開始
折り紙で黒の魚(スイミー)を1匹、赤の魚を18匹作り、黒のみ「大吉」、あとは、「中吉」・「小吉」・「吉」・「末吉」と表示して箱に入れ、引かせた。
○傍に絵本を置き、遊びと本とがつながるようにした。
○行列ができるほど男女問わず全学年の児童から人気があり、来館者数が一気に増えた。
○魚以外のものを加えたり、折り紙の景品をプレゼントしたりと改良を加えた。
※高平小でも同じものを使用。
- ② 絵本「ぼかぼかホテル」より ～ドキドキスリッパさがし～ 2月開始
木にぶら下がっている折り紙で作ったスリッパから1つを選び、付属の箱から一回で同じものを引いたら、「とってもラッキー」とした。

- 傍に絵本を置くとともに、読み聞かせも行った。
- 男女問わず全学年の児童から人気があった。
- ※高平小でも同じものを使用。



<スイミーくじ>



<ドキドキ❀スリッパさがし>

※上記以外にも、物語「わにのはいた」に関連させて「ワニゲーム」や図鑑の付録のすごろく、「パンダオセロ」などを置き、自由に遊べるようにした。

(8) 中央図書館見学

- ・先生から依頼を受け、クラス単位で、図書館内を案内した。
- 自分の学校にいる図書館支援員が案内をすることで、児童は受け入れ易かったようである。

(9) 折り紙指導

- ・昼休み来館児童に対して、特集コーナーや図書室内に飾ってある折り紙の折り方の指導を行った。
- 今まで図書室にあまり来なかった児童も来館するようになった。

(10) 図書室内外の主な飾りつけ

- ① 第一図書館と第二図書館の教室表示を新しくし、絵本が置いてある第二の表示に、「みにくいあひるの子」のモビールを設置。
- ② 第一図書館の4類書架上に、「クワガタ」の切り絵を飾った。7月
○名前当てクイズつきなので、児童同士でクイズを出して楽しんでいた。
○児童に話しかけるきっかけ作りに役立った。
※高平小でも同じものを使用。



切り絵の下にテプラで名前を表示
 ○○○クワガタなどの名前クイズ

- ③ 第二図書室の黒板に「卒業おめでとう」の飾り付けをした。
 - ・それをバックにPTAボランティアの青田さんが6年生に向けて、最後の読み聞かせ会を行った。
- ④ 第一・第二図書館の黒板に物語に関する飾り付けを行った。⇒表紙写真
 ○マグネットを裏につけることで、取り外しを簡単にした。

(11) 図書を選書・受入

- ・杉並文庫、市費・PTA費購入図書の選書を行った。
- ・寄贈図書・購入図書の受け入れをした。

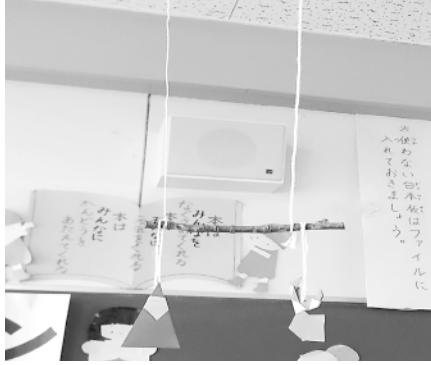
寄贈図書 764冊
購入図書 191冊
 合計冊数 955冊

(12) プレゼントの提供

～児童の読書意欲を高めることがねらい～

※次頁写真

- ① クリスマスツリーオーナメント 11月下旬～12月下旬
 - ・本を借りた児童に、折り紙で作ったクリスマスツリーに飾る「くつした」「キャンドル」「トナカイ」「サンタクロース」を順次プレゼント。
- ② 開運☆お守り 1月 冬休み明け
 - ・本を借りた児童に折り紙で作ったラッキーモチーフ入りお守りをプレゼント。
- ③ 卒業生へ記念のしおり 3月 卒業式当日
 - ・ものがたり「ムーミン谷の夏まつり」のスナフキンの言葉を載せ、卒業生への贈る言葉とした。裏には、英語で学校名と「祝☆卒業」と入れた。
 - ※第一図書室の入り口に置いていたスナフキンが原二小図書室のマスコットのような存在となっていたことにも関係している。



<クリスマスオーナメント>
カウンター上部にもつり下げた



<開運☆お守り>

これからの人生において、何か迷いの扉が表れたら、この言葉を鍵にして進んでいってほしいとの願いを込めて…

<卒業記念のしおり>



3 貸し出し冊数報告（昼休み図書室来館分）

4月～9月分

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
冊数	141冊	388冊	393冊	702冊	119冊	663冊	2406冊

※全学年貸し出し可（1学年は5月から開始）。

※貸し出し曜日…（月）（水）（金）の他、図書館支援員来館の（木）も可。

※貸し出し冊数…2冊。貸し出し期間…定めがなかったが途中から一週間となった。

※7月は、夏休み分貸し出しのため、1人3冊の貸し出し。

4 今年度の活動結果（○成果 ●課題）

- 各種コーナーの設定や、折り紙指導や占い遊びなどの工夫により、活動開始時よりも来館者が増え、児童の読書意欲を高めることができた。
- 2学年担任の図書担当の先生より
クラスで「今年学校で1番嬉しかったことは？」という質問に対して、「図書室でお守りをもらったこと」との回答があった。
また、「学校で自慢できる場所は？」という質問に対して、「図書室がおもしろいところ」との回答があり、図書室で過ごす時間を楽しんでもらえたようである。
- 貸し出しが少ない学年の先生に現状を相談し、先生から児童に図書室へ行くようにとの指導がなされたところ、図書室に来るようになった学年があった。
※先生の児童に対する声かけが重要であることを改めて感じた。
- 低学年の貸し出しは増えたが、5・6年生の貸し出しがあまり伸びなかった。
- 「20冊おめでとう賞」をもらった児童には、おすすめの本を紹介してもらうなど、読んだ冊数の記録だけにとどまらない工夫ができるとよかった。

5 新年度の活動目標

- (1) 高学年の貸出冊数を増やすための工夫をする。
- (2) 児童や先生におすすめ本の紹介を書いてもらって展示するなど、児童参加型・先生参加型のイベントを企画していきたい。
- (3) 「スイミーくじ」や「ドキドキ❀スリッパ」に代わる新しい遊びを行いたい。
- (4) 図書館だよりまたは図書館カレンダーを作り、図書室から情報を発信する。
- (5) 分類の見出しを作り、より分かりやすい書架作りに取り組む。
- (6) 分類ラベルが貼られていない本がまだ多数あるので、その装備に取り組む。
- (7) 第二図書室の古い本の除籍作業に取り組む。